

第6学年〇組 社会科学学習指導案

指導者 〇〇 〇〇

1 単元 源頼朝と鎌倉幕府

2 目標

- 武士が力をもった時代に関心をもち、武士による政治やくらしの様子、文化について進んで調べようとする。(社会的事象への関心・意欲・態度)
- 武士による政治が始まったことや室町時代の文化の特色について、当時のできごとや武士の考え方と関連付けて考えることができる。(社会的な思考・判断)
- 年表や読み物資料、地図、写真などの資料を活用して調べ、武士の政治や生活、文化の特色などを分かりやすく表現することができる。(資料活用の技能・表現)
- 武士による政治の始まりや、幕府が全国的に力をもってきたこと、武士や民衆の中から室町文化が生まれたことが分かる。(社会的事象についての知識・理解)

3 単元について

(1) 教材観

本単元は小学校学習指導要領(平成10年12月告示 平成15年12月一部改正 文部科学省)の第6学年の内容(1)のウ「源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦い、京都の室町に幕府が置かれたころの代表的な建造物や絵画について調べ、武士による政治が始まったことや室町文化が生まれたことが分かること。」をねらいとしている。

本単元では、武士による新しい政治を始めた源頼朝と鎌倉幕府、そして、武士や民衆の中から生まれた新しい室町の文化を取り上げる。まず、貴族の政治から武士の政治に移り変わる鎌倉時代について、平清盛や源頼朝、北条時宗などの活躍を中心に学習する。武士の活躍については、年表や歴史地図などの基礎的資料と合わせて肖像画やエピソードなどを効果的に活用し、児童の興味・関心を高めていくことが大切である。また、室町時代の文化は、代表的な建造物や絵画について調べて文化の特色をつかみ、文化の大切さや自分たちの生活とのかかわりなどに気付かせていくことが重要である。

(2) 児童の実態(第6学年1組 男子18人、女子13人 計31人)

本学年の児童は、昨年度より社会科を担当し、二年目に当たる。これまでの実践では、学習課題の設定や指導計画を工夫することで児童が主体的に取り組む学習を進めてきた。その結果、児童の学習意欲はある程度高まったが、表現活動の工夫や児童の思考の深まりについては課題が残った。

そこで、児童の実態を把握するために、社会科の学習に関する意識調査(平成18年4月11日実施、第6学年1組29人)を行った。「社会科の学習は好きですか。」という質問に対して、「好き」が20人、「まあまあ好き」が7人であった。このことから、児童の大部分は社会科好きであることが分かる。一方、「学習課題をもとに話し合う学習は好きですか。」という質問に対しては、「あまり好きではない」が6人、「好きではない」が4人であった。主な理由は、「話すことが苦手」や「話し方が分からない」などであった。これは、話し合い活動の準備不足が原因と考えられる。児童の思考を深めていくためには、調べたことから話し合いを行う学習活動において、事実を根拠として自分の考えがもてるような学習活動の工夫が必要であることが分かった。

(3) 指導観

小学校学習指導要領解説—社会科編—(平成11年5月文部省)の「改訂の要点」には、「社会的事象に関心をもち、公正に判断できるように、各学年の発達段階に応じて、観察、調査したり、各種の資料を活用したり、調べたことを表現したりするとともに、社会的事象の意味や働きを考える力を育てること。」と示されている。このことから、社会的事象の意味や働きを考える力を育てるためには、具体的な活動を通して調べたことを表現し、その表現活動を通して社会的な思考を深めていくことが重要であると考えられる。

そこで、本単元では、自分が御家人だったら、幕府の政治や当時の武士の生活についてどのように考えるかという設定で学習を進める。御家人となった児童は、歴史的な事象について調べて分かったことを基に幕府への信頼度を5段階で評価し、ワークシートの中のグラフに記入する。その際、歴史的な事象に関連のある具体的な事実や当時の武士の心情などを理由にまとめさせ、自分の考えがもてるようにする。ワークシートは、単元の学習や児童の思考の履歴が一目で見られるように内容を精選し、一枚にまとめたものを使用する。単元の終末では、このワークシートを基に武士による政治のしくみについて話し合い、鎌倉時代のキャッチコピーを作る活動を通して時代の全体像をつかませていく。また、室町時代の文化については、ジグソー学習を取り入れた調べ学習を行い、室町時代の文化の特色について考えさせ、自分たちの生活とのかかわりに気付かせていく。

4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用の 技能・表現	社会的な事象についての 知識・理解
<p>源頼朝の働きや鎌倉武士の様子について進んで調べ、考えながら追究しようとする。</p> <p>室町時代の文化が自分たちの生活の中にも受け継がれていることに気づき、関心を深めることで歴史や伝統を大切にすることをしようとする。</p>	<p>源頼朝の働きや武士の政治のしくみの意味について問題意識をもち、学習の見通しをもって追究し、解決する。</p> <p>室町時代の文化についてその背景や現代とのつながりを調べ、自分なりの考えをもつことができる。</p>	<p>源頼朝の働きや武士の政治のしくみについての資料を調べ、まとめる。</p> <p>金閣や銀閣などの建造物や水墨画、茶の湯などの室町時代の文化に関する資料を集め効果的に活用する。</p> <p>調べた過程や結果を目的に応じた方法で分かりやすく表現する。</p>	<p>源頼朝の働きによって武士の政治が始まったことや武士の政治のしくみが分かる。</p> <p>金閣や銀閣などの建造物や水墨画、茶の湯など室町時代に生まれた文化の多くが今の暮らしの中に受け継がれていることが分かる。</p>

	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する児童への手だて
つかむ	<p>㊦ 読み物や写真などの資料のほかにも自分から資料を探して、武士による政治の始まりについていくつかの見方で詳しく調べようとしている。</p>	<p>読み物や写真などの資料を基に武士による政治の始まりに関心をもち、学習問題を意欲的に追究しようとしている。</p>	<p>読み物や写真などの資料に取り上げられている武士達の様子に注目させ、単元の学習に目を向けさせる。</p>
鎌倉とき代の政治・武士の生活	<p>㊦ 歴史的事象について調べたことを根拠に御家人の幕府への信頼度を5段階で評価し、その理由と自分の考えを的確にまとめている。</p> <p>㊦ 写真や地図などの資料を細かく読み取り、具体的な事象と自分の考えを関連付けて分かりやすくまとめている。</p> <p>㊦㊦ 武士による政治のしくみや鎌倉時代の全体像について考え、友だちと意見の交換を十分に行い、自分の考えを広げたり、深めたりしている。</p>	<p>歴史的事象について調べたことを根拠に御家人の幕府への信頼度を5段階で評価し、その理由をまとめている。</p> <p>写真や地図などの資料を読み取り、具体的な事象を取り上げてまとめている。</p> <p>武士による政治のしくみや鎌倉時代の全体像について考え、友だちと意見の交換を行い、自分の考えを深めている。</p>	<p>歴史的事象の具体的な内容を助言し、当時の武士の気持ちを想像させながら自分の考えをまとめさせる。</p> <p>写真や地図などの資料を見るとき具体的な視点を助言し、分かったことを書き出させる。</p> <p>友だちの意見をよく聞くように助言し、ワークシートなどの自分の考えと比較して考えさせる。</p>
室町とき代の文化	<p>㊦ 文化遺産や今も受け継がれている室町時代の文化について、いろいろな方法で資料を集め、それらを総合してまとめようとしている。</p> <p>㊦㊦ 調べて分かったことを発表し合い、室町時代の文化の特色や文化の大切さ、自分たちの生活とのかかわりなどを、それぞれ関連付けて自分の考えをまとめている。</p>	<p>文化遺産や今も受け継がれている室町時代の文化について、進んで調べようとしている。</p> <p>調べて分かったことを発表し合い、室町時代の文化の特色や文化の大切さ、自分たちの生活とのかかわりについて自分のことばでまとめている。</p>	<p>学習問題についての調べる方法や具体的な資料を示し、調べるときの視点やまとめる方法を助言する。</p> <p>室町時代の文化が今の暮らしの中に受け継がれている事例を具体的に示し、室町時代の文化と現在の生活の関係をつかませる。</p>
まとめ	<p>㊦ 武士による政治の始まりや室町文化の誕生について理解し、その先人たちの働きや自分たちの生活かかわりのある文化を大切にしようとしている。</p>	<p>武士による政治が始まったことや、幕府が全国的に力をもったこと、武士や民衆の中から室町文化が生まれたことを理解している。</p>	<p>基礎的な資料を提示し、その資料の見方や考え方を指導したり、関連のある具体物などを示して解説する。</p>

5 単元の学習計画

時	学習内容及び活動	形態	教師の指導と評価 ○指導 評価規準㉔㉕㉖
1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 武士の登場について調べ、武士による政治や生活の様子について興味をもつ。 武士は、いつごろ、どのようにしてあらわれたのだろう。 ・「貴族を守る武士」の絵図を見て、気付いたことを発表し合う。 ○ 単元の学習計画について知る。 ・ワークシートのかき方を知る。 	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ○ 弓矢の実物資料を提示し、新しい武士の時代の始まりに関心をもたせる。 ○ 武士の登場と平清盛を中心とする平氏の政治について理解させる。 ○ 年表を使って鎌倉時代を概観させ、ワークシートのグラフの横軸を記入させる。 ㉔ 読み物や写真などの資料を基に武士が力をもった時代に関心を持ち、学習問題を意欲的に追究しようとしている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 源平の合戦と鎌倉幕府の成立について調べ、考える。 源氏と平氏の戦いは、どんな戦いだったのだろう。 ・源平の合戦について調べる。 ・戦いは、どんな意味があったのか考える。 ○ 本単元の学習問題を知る。 鎌倉武士（御家人）になって、武士が力をもってきたころの政治や生活について考えてみよう。 ・ワークシートに自分の考えをまとめる。（鎌倉幕府の成立） 	一斉 個別 一斉 個別	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に源頼朝に関するVTRを見せ、気付いたことなどをメモするようにしておく。 ○ 源頼朝と源義経の活躍を中心に調べさせる。 ○ 児童の興味・関心が高まるように、人物や戦いのエピソードについて効果的に取り上げられるように補助資料を配布する。 ○ 源平の合戦における源頼朝や源義経、当時の武士の思いや願いについて考えさせ、鎌倉幕府の成立が武士による政治の始まりであることを理解させる。 ㉕ 人物年表や歴史地図などの資料を基に鎌倉幕府が開かれるまでの経緯について、具体的な事件やできごとを取り上げてまとめている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鎌倉武士の生活について調べ、考える。 鎌倉武士の日常生活をさぐろう。 ・「武士のやかた」の絵画資料を見て、気付いたことや考えたことを発表し合う。 ・ワークシートに分かったことや自分の考えをまとめる。（鎌倉武士の生活） 	一斉 個別 一斉 個別	<ul style="list-style-type: none"> ○ 貴族の屋敷(絵画資料)と比較しながら読み取らせ、やかたの内外や人の様子などの視点から武士のくらしの様子についてまとめさせる。 ㉖ 絵画資料などを読み取り、武士のくらしの様子について分かったことや自分の考えをまとめ、意見や感想を発表している。
4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幕府の支配体制について調べ、考える。 源頼朝は、どのようにして武士たちを従えたのだろう。 ・鎌倉幕府の政治について調べる。 ・北条氏による政治と幕府の支配の拡大について知る。 ・ワークシートに自分の考えをまとめる。（承久の乱） 	一斉 個別 一斉 個別	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鎌倉街道の図や鎌倉の復元模型の写真、ご恩と奉公の関係図などを調べさせ、鎌倉幕府の武士による政治のしくみについてまとめさせる。 ○ 源頼朝の死後、北条氏が政治を行うようになったこと、幕府の支配が全国に及ぶようになったことを理解させる。 ㉗ 具体的な歴史的な事象を根拠に幕府の活動を評価し、その理由をまとめている。
5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 元との戦いについて調べ、考える。 元寇とは、どんな戦いだったのだろう。 ・元との戦いについて調べ、まとめる。 ・元との戦いは、幕府にとってどんな意味があったか考える。 ・ワークシートに自分の考えをまとめる。（元寇） 	一斉 個別 一斉 個別	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北条時宗に関するVTRを事前に見せ、気付いたことなどをメモするようにしておく。 ○ 北条時宗の肖像画や写真資料、歴史地図などを調べさせ、幕府が全国の武士を動員して元の攻撃を退けたことについてまとめさせる。 ㉘ 写真や歴史地図などの資料を読み取り、元との戦いと当時の幕府の力などについて分かったことや自分の考えをまとめ、意見や感想を発表している。
6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習を振り返り、鎌倉時代の全体像について話し合う。 鎌倉時代は、どんな時代だったのだろう。 ・グラフを完成させる。（鎌倉幕府の滅亡） ・グラフを基に話し合い、御家人と鎌倉幕府の関係について考えを深めていく。 ・鎌倉時代の特徴を表すことばを探す。 ・鎌倉時代のキャッチコピーとその説明をまとめ、発表する。 ・鎌倉時代について学習をまとめる。 	一斉 個別 グループ 一斉 個別	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鎌倉幕府の滅亡の原因について考えさせ、グラフを完成させる。 ○ グラフの書き加えや修正は、朱書きさせる。 ○ 御家人と鎌倉幕府の関係は、土地が重要な役割を果たしていることに気付かせるようにする。 ○ キャッチコピー作りを通して鎌倉時代の全体像について考えさせる。 ㉙ 武士による政治のしくみや鎌倉時代の全体像について考え、友達との意見の交換を行い、自分の考えを深めている。
7 8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 室町時代の文化について調べ、考える。 室町時代の文化をさぐろう。 ・鎌倉幕府が倒れて室町幕府ができたことを知る。 ・グループで調べ学習の計画を立て、内容を分担して調べる。 ・グループ内で調べたことを発表し合い、室町時代の文化の特色について考えをまとめる。 ・各グループが発表した室町時代の文化の特色について話し合い、まとめる。 	一斉 グループ 一斉	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真や肖像画などの資料から室町時代の文化を概観し、グループで調べ学習の計画を立てさせる。 ○ 調べて分かったことをグループ内で発表し合い、室町時代の文化の特色について考えさせる。 ○ グループでまとめた意見を小黒板で掲示させ、室町時代の文化の特色についてまとめる。 ㉚ 文化遺産や今も受け継がれている室町時代の文化について、進んで調べようとしている。 ㉛ 調べて分かったことを発表し合い、室町時代の文化の特色や文化の大切さ、自分たちの生活とのかかわりについて自分のことばでまとめている。
9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の振り返り ○ 評価テスト 	個別	<ul style="list-style-type: none"> ㉜ 武士による政治が始まったことや、幕府が全国的に力をもったこと、武士や民衆の中から室町文化が生まれたことを理解している。

6 本時の学習

(1) 目標

武士による政治のしくみについてワークシートを基に話し合いながら自分の考えを深め、鎌倉時代のキャッチコピーを作る表現活動を通して、鎌倉時代の全体像をつかむことができる。

(2) 資料 ① ワークシート ② 学習課題 ③ グラフ ④ 「ご恩と奉公」の関係図
⑤ 画用紙 ⑥ 学習のまとめ ⑦ 掛け軸(水墨画)

(3) 展開 (○全体 ◎個別 ㊦㊧㊨㊩評価)

配時	学習内容及び活動	形態	資料	指導上の留意点及び評価								
3	1 本時の学習内容を確認する。 鎌倉時代は、どんな時代だったのだろう。	一斉	①	○ワークシートを使い、自分の学習を振り返りながら本時の課題について考えていけるようにする。								
17	2 ワークシートを基に、御家人と幕府の関係について話し合う。 (1) 幕府の滅亡について調べ、グラフを完成する。 (2) グループ内でグラフを比較し、意見を交換し合う。 (3) グラフの相違点について話し合い、御家人と幕府の関係について考える。 ○御家人の幕府に対する信頼度 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="text-align: center;">高くなる時</td> <td style="text-align: center;">低くなる時</td> </tr> <tr> <td>・戦いするとき</td> <td>・土地がもらえない</td> </tr> <tr> <td>・戦いに勝って土地がもらえる</td> <td>・幕府の力が弱くなる</td> </tr> <tr> <td>・幕府の力が強くなる</td> <td>・指導者が弱い</td> </tr> </table> ※幕府のために戦い、そのほうびに土地をもらう→「ご恩と奉公」	高くなる時	低くなる時	・戦いするとき	・土地がもらえない	・戦いに勝って土地がもらえる	・幕府の力が弱くなる	・幕府の力が強くなる	・指導者が弱い	個別 グループ 全体	② ③	○ワークシートで思考の変容を確かめられるように、追加や修正は赤で書かせる。 ◎作業が遅れている児童には、元寇後の幕府の御家人への対応について調べることを助言する。 ◎作業の早い児童には、グラフ全体の見直しをさせ、グラフの修正や考えの付け加えをさせる。 ○意見の交換は、ワークシートの記述などを使い、歴史上の事実に基づいた意見交換が行えるようにする。 ○全体の話し合いでは、信頼度と歴史的事象の関係について、御家人の心情も関連付けて考えさせたい。 ○話し合いでは、「それで」「どうして」「まとめて」などの言葉で児童の発言をつなぎ、児童の思考の深めていく。 ○武家社会における主従関係は、土地が重要な役割を果たしていることに気付かせていく。
高くなる時	低くなる時											
・戦いするとき	・土地がもらえない											
・戦いに勝って土地がもらえる	・幕府の力が弱くなる											
・幕府の力が強くなる	・指導者が弱い											
20	3 鎌倉時代の全体像について話し合う。 (1) 鎌倉時代の特徴となることばを探す。 〈人物・政治〉 ・源頼朝、武士、幕府、ご恩と奉公など 〈生活・文化〉 ・武家屋敷、武芸、新しい仏教など (2) 鎌倉時代のキャッチコピーを作り、その説明をワークシートにまとめる。 ○鎌倉時代は、□□□□□の時代。 〈例〉 ・武士の政治の始まりの時代 ・多くの戦いと武士の時代 ・土地がごほうびの時代 など (3) 鎌倉時代のキャッチコピーとその説明を発表する。	一斉 個別 一斉	④ ⑤	○ワークシートを使って鎌倉時代全体を振り返り、時代の特徴を表すことばを発表させる。 ○用語の意味や前後の時代との比較などを考えるように助言し、キャッチコピー作りを通して鎌倉時代の全体像がつかめるようにしていく。 ◎作業の遅い児童には、板書から印象的なことばを選んで作らせるようにする。 ◎作業の早い児童には、画用紙にキャッチコピーを書かせ、その裏に発表のメモなどを準備させる。 ○教師が意図的に児童を指名し、多くの考え方に触れられるようにしたい。 ㊦武士による政治のしくみや鎌倉時代の全体像について考え、友だちと意見を交換し合い、自分の考えを深めている。								
5	4 本時の学習をまとめる。 (1) 児童の発表を生かして本単元の学習をまとめる。 鎌倉時代は…武士が政治を始め、土地をほうびに一所懸命にがんばった時代 (2) 次時の学習について知る。 ・室町時代の文化	一斉	⑥ ⑦	○児童が自分の思考の深まりに気付くことができるように、ワークシートの取り組みについて称賛する。 ○「一所懸命」のことばの由来について話し、学習をまとめる。 ○次時について簡単に触れ、生活の中から室町文化を探してみるように話す。								

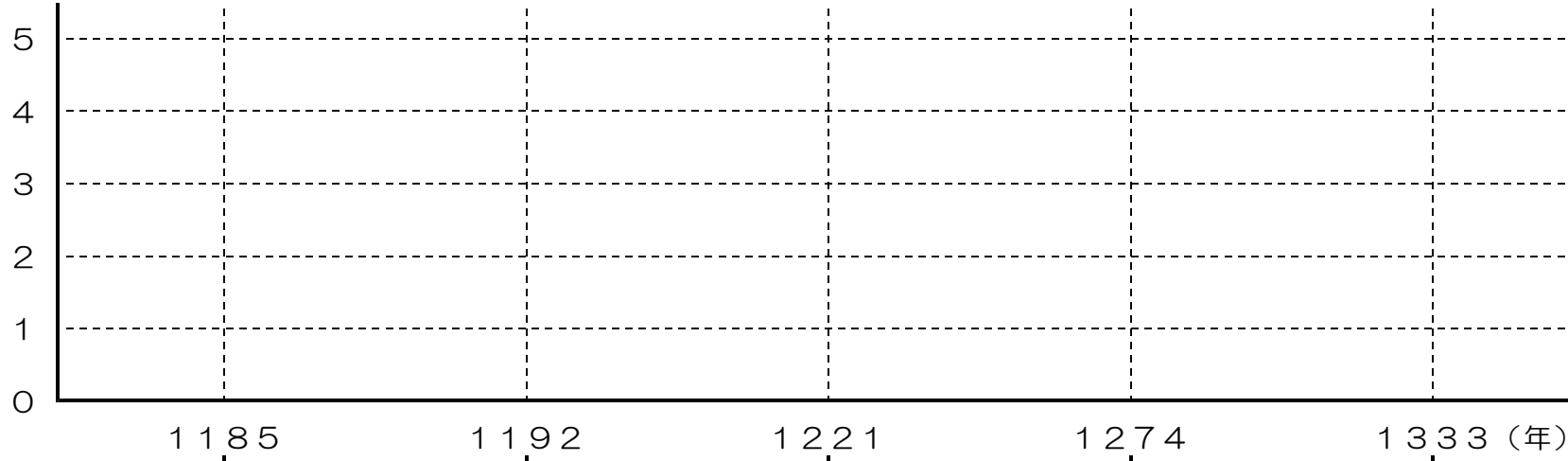
◇◆◇鎌倉武士のノート◆◆◇

6年 組 番 氏名 _____

学習
課題

※ 学習してわかったことから、鎌倉幕府への信頼度を5段階評価で表そう。また、下のらんに、それぞれの評価の理由や自分の考えをまとめよう。

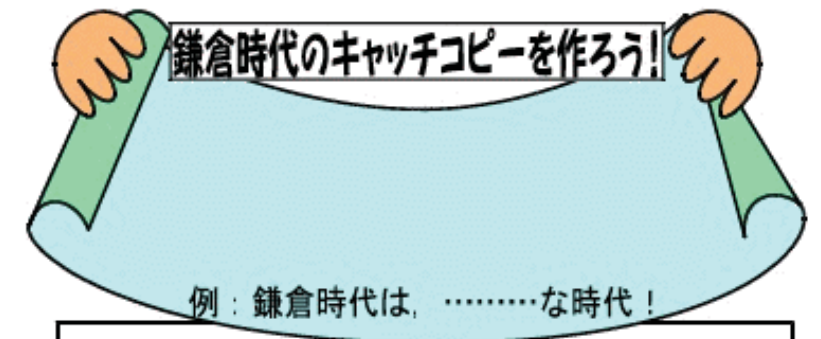
幕府への信頼度



できごと					
評価の理由・自分の考え					
時代					



○ 鎌倉武士の日常生活をさぐろう。



説明、自分の考え〉
時代とは…

時間	※ 3段階評価しよう A よくできた B ふつう C 今ひとつ	学習の意欲	よく調べた	よく考えた	よくわかった
1	○武士が登場する				
2	○源氏と平氏が戦う				
3	○頼朝が東国を治める				
4	○領地を守り，武芸にはげむ				
5	○元の大軍がせめてくる				
6	○鎌倉時代はどんな時代				

○ 自分の学習をふり返ってみよう

〈よかったこと，がんばったこと〉

〈これからがんばりたいこと〉

鎌倉武士のノート



年	組	番
鎌倉幕府の御家人のあなたは…		